

安全データシート

整理番号: SDS002-03

改訂日: 2024年6月13日

1. 化学品（製品）及び会社情報

| | |
|--------------|-----------------------------|
| 製品名 | IFCC 血漿蛋白国際標準品 (DA470) |
| SDSNo. | SDS002R5 |
| 会社名 | 一般社団法人 検査医学標準物質機構 |
| 住所 | 神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町 1050-35 |
| 電話番号 | 045-507-6145 |
| FAX 番号 | 045-530-9036 |
| 電子メールアドレス | cont@reccs.net |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 臨床検査用標準物質、IN-VITRO USE ONLY |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | |
|------------------|-------|
| 物理化学的危険性 | |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 健康に対する有害性 | |
| 急性毒性（経口） | 区分 2 |
| 急性毒性（経皮） | 区分 1 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 区分 1 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分 1 |
| 特定標的臓器毒性（単回暴露） | 区分 1 |
| 特定標的臓器毒性（反復暴露） | 区分 1 |
| 環境に対する有害性 | |
| 水生環境有害性（急性） | 区分 1 |
| 水生環境有害性（長期間） | 区分 1 |

(注)記載なき GHS 分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起語
危険有害性情報

危険

皮膚の薬傷及び目の損傷
臓器の障害
長期にわたる、また反復暴露による臓器の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き
安全対策

環境への放出を避けること。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。
当該製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。

| | |
|-----------------|---|
| 応急処置 | |
| 漏出物 | 回収すること。 |
| 気分が悪いとき | 医師の診断/手当を受けること。 |
| 皮膚（または髪）に付着した場合 | 多量の水と石鹼で洗うこと。 直ちに汚染された衣類を脱ぎ、皮膚を流水/シャワーで洗うこと。衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 |
| 衣類に付着した場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる時は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| 眼に入った場合 | 水をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 |
| 貯蔵 | 施錠して保管すること。 |
| 廃棄 | 内容物/容器を地方/国の規則に従って破棄すること。 |

3. 組成及び成分情報

| 単一製品・混合物の区別 | 混合物 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|-------|------|-----|----------|------------|---|-----|-----------|-----|---------|-----|--------|-----|
| 成分及び含有量 | <table border="1"> <thead> <tr> <th><成分></th> <th><含有量></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヒト血清</td> <td>非公開</td> </tr> <tr> <td>アジ化ナトリウム</td> <td>1.4% (w/w)</td> </tr> <tr> <td>4-(2-hydroxyethyl)- 1- piperazineethane sulfonic acid</td> <td>非公開</td> </tr> <tr> <td>ベンズアミン塩酸塩</td> <td>非公開</td> </tr> <tr> <td>塩化ナトリウム</td> <td>非公開</td> </tr> <tr> <td>アプロチニン</td> <td>非公開</td> </tr> </tbody> </table> | <成分> | <含有量> | ヒト血清 | 非公開 | アジ化ナトリウム | 1.4% (w/w) | 4-(2-hydroxyethyl)- 1- piperazineethane sulfonic acid | 非公開 | ベンズアミン塩酸塩 | 非公開 | 塩化ナトリウム | 非公開 | アプロチニン | 非公開 |
| <成分> | <含有量> | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒト血清 | 非公開 | | | | | | | | | | | | | | |
| アジ化ナトリウム | 1.4% (w/w) | | | | | | | | | | | | | | |
| 4-(2-hydroxyethyl)- 1- piperazineethane sulfonic acid | 非公開 | | | | | | | | | | | | | | |
| ベンズアミン塩酸塩 | 非公開 | | | | | | | | | | | | | | |
| 塩化ナトリウム | 非公開 | | | | | | | | | | | | | | |
| アプロチニン | 非公開 | | | | | | | | | | | | | | |
| <アジ化ナトリウムについて> | | | | | | | | | | | | | | | |
| 化学物質 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成分名 | アジ化ナトリウム | | | | | | | | | | | | | | |
| 化学式 | NaN ₃ | | | | | | | | | | | | | | |
| 化審法番号 | 1-482 | | | | | | | | | | | | | | |
| CASNo. | 26628-22-8 | | | | | | | | | | | | | | |
| MW | 65.01 | | | | | | | | | | | | | | |
| EC 番号 | 247-852-1 | | | | | | | | | | | | | | |

4. 応急措置

| | |
|------------------|---|
| 暴露経路による応急処置 | |
| 吸入した場合 | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪いときは医師に連絡する。 |
| 皮膚に付着した場合 | 付着部又は接触部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。外観に変化が見られたり痛みが続く場合には、医師の手当てを受ける。 |
| 目に入った場合 | 直ちに水で十分洗眼する。コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる時は外すこと。その後も洗浄を続ける。異常があれば医師の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 水でよく口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 |
| 予想される急性症状 | 情報なし |
| 遅発性症状、最も重要な兆候・症状 | 情報なし |
| 医師に対する特別な注意事項 | なし |

5. 火災時の措置

| | |
|-----------------------|--|
| 適切な消火剤 | 当該製品は不燃性のため、一般火災に準ずる。水などを用いる消火剤は使用できる。 |
| 使ってはならない消火剤 | なし |
| 特有の危険有害性 | 情報なし |
| 特有の消化方法 | 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを規制する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。安全な距離から散水して冷却する。防火服/防災服/耐火服を着用する。 |
| 消火を行う者の保護 | 耐熱手袋/保護面を着用する。 |
| 6. 漏出時の措置 | |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置 | 作業の際には適切な保護具を着用する。少量の場合は水拭きし、多量の場合は、多量の水で十分に希釈して洗い流す。 |
| 環境に対する注意事項 | 当該製品を多量に含んだ排水が、上水源、河川、湖沼、地下水等に漏出しないようにする。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 漏出物を容器に回収する。 |
| 二次災害の防止策 | 漏出物を回収する。 |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | |
| 取扱いに関する安全取扱い注意事項 | 点眼・服用・注射は絶対に行わないこと。 当該製品はヒト由来で特に病原菌等は検出されていないが、感染の危険があるものとして十分注意をして取り扱うこと。 皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。 防塵マスク保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用する。 |
| 保管条件 | 直射日光を避け、冷凍庫内（ $-20\pm 2^{\circ}\text{C}$ ）で保管する。 施錠して保管する。 |
| 混触禁止物質 | 情報なし |
| 8. 暴露防止及び保護措置 | |
| 管理指標 | |
| 管理濃度 | 設定されていない |
| 許容濃度 | 設定されていない |
| 暴露防止 | |
| 設備対策 | 手洗い/洗顔設備を設ける。 洗眼設備を設ける。 |
| 保護具 | |
| 呼吸器用保護具 | 防塵マスク |
| 手の保護具 | 保護手袋 |
| 眼の保護具 | 保護眼鏡/顔面保護具 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 保護衣 |
| 衛生対策 | 眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 当該製品を使用する時に飲食及び喫煙をしないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 |
| 9. 物理的及び化学的性質 | |

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

外観

白色～淡黄色結晶

臭い

微臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点・凝固点

該当しない

蒸発速度

該当しない

引火点

該当しない

燃焼又は爆発範囲の上限・下限

該当しない

自然発火温度

データなし

爆発特性

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重/密度

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール/水分配係数 (アジ化ナトリウム)

log Pow ≤ 0.3

分解温度

データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保存条件/取扱い条件において安定である。

反応性

通常の取り扱い条件下で安定

危険有害反応可能性

通常の取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない。

避けるべき条件

常温・高温 (8°C以上)

混触危険物質

特になし

危険有害な分解生成物

窒素酸化物、アジ化水素

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

当該製品は、保存料としてアジ化ナトリウムが 1.4%(w/w)含有されている混合物であるが、毒性学的影響に関する情報はない。以下にアジ化ナトリウムの情報を記載する。

急性毒性

経口 (日本公表根拠データ)

rat LD50=45 mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)

経皮 (日本公表根拠データ)

rabbit LD50=20 mg/kg (ACGIH, 2001)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性 (日本公表根拠データ)

ラビット・腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

皮膚腐食性が区分1による

呼吸器感受性又は皮膚感受性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

催奇形性

データなし

発がん性

ACGIH-A4 (1992)

生殖毒性

データなし

短期暴露による即時影響、長期暴露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分1

特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)

区分1

吸引力呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

| | |
|--|---|
| 生態毒性 水生毒性 | 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性 |
| 残留性・分解性 直接測定 (HPLC) による分解度 生物蓄積性 log Pow 土壌中の移動性 オゾン層への有害性 | 1% (既存化学物質安全性点検データ) ≤0.3% データなし データなし |
| 1 3. 廃棄上の注意 | |
| 廃棄物の処理方法 | 環境への放出を避ける。 廃棄物に関する規則に従って産業廃棄物として廃棄する。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。 地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |
| 1 4. 輸送上の注意 | |
| 国際規制 国連番号、国連分類 番号 品名 (国連輸送名) 国連分類：輸送における危険有害性クラス 容器等級 指針番号 環境有害性 海洋汚染物質、緊急有害性 海洋汚染物質、長期間有害性 注意事項 | UN 3377 1687 (アジ化ナトリウム) ERM-DA 470 k/IFCC 6.1 (アジ化ナトリウム) II (アジ化ナトリウム) 153 (アジ化ナトリウム) 該当 該当 冷凍保管し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、粗暴な取り扱いをしないこと。 |
| 1 5. 適用法令 | |
| 当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令 毒物及び劇物取締法 毒物 (条例 1 条) 名称通知危険/有害物 労働安全衛生法(令和 6 年の施行) 化管法 (PRTR 法) 船舶安全法 航空法 | アジ化ナトリウム (法令番号 1)、包装等級 II 第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表 9) アジ化ナトリウム (区分内番号 9) 【 R6.4.1 以降】 皮膚等障害化学物質等(規則 第 594 条の 2 第 1 項) 非該当 毒物類 毒物 分類 6 区分 6.1 毒物類 毒物 分類 6 区分 6.1 |
| 1 6. その他の情報 | |
| 参考文献 JIS Z 7253 (2012 年) 事業者向け GHS 分類ガイダンス (平成 25 年度改訂版、経済産業省) | |

【注意】

注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって特殊な手扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱っていただくための情報を提供するためのものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

この安全データシートは調査して記載しましたが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありませんので、手扱いには十分に注意して下さい。
